

遠くから暖かく見守る
クライアント・モニタリングシステム

『さばめし1.1』

取扱説明書





も く じ



1. はじめに	4
2. インストールと起動方法	8
3. 各種設定方法	13
4. 各プログラムの起動	18
5. UltraVNCとの連携	31
6. ウイルス対策製品への設定	32
免責事項 他	39
バージョンアップ履歴	40

「さばめし」は監視対象下にあるクライアントの状態を監視するソフトウェアであり、クライアント利用者の個人情報や使用状況を盗み見る物ではありません。

個人のプライバシー保護には十分注意してください。

01 はじめに



くらずしとさばめし クラ図示とサバ目視・・・



『さばめし』は同一ネットワーク上に存在するパソコン（クライアント）の状態を制御・監視するリモートクライアント・モニタリング・システムです。

お子さんのパソコンやパソコン塾などでの利用、キオスク端末のような公共設置端末の使用状態を監視する事ができます。

監視ソフトで同時に5台のクライアントの状況を確認しながら文字列の表示や画面ロック・プロセス停止を行う事が可能です。

「クライアントを図示して、サーバで目視する！！」
そこからクライアント側管理ソフトを『くらずし』・・・
サーバ側監視ソフトを『さばめし』と命名いたしました！！

『さばめし』は **フリーソフト(寄付歓迎)** です。

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- その他記載された会社名、製品名、サービス等は、各社の登録商標もしくは商標です。
- マニュアルの一部または全部を許可無く複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
- マニュアルの内容は予告無く変更する事があります。

1

動作条件

【O S】 Windows2000 sp4 以降

【C P U】 Celeron 800Mhz 以上

【メ モ リ】 256MB 以上

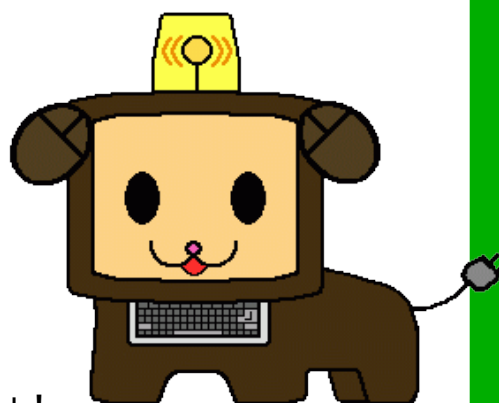
【H D D】 10MB 以上

【必要DLL】 Microsoft .NET FrameWork 2.0以降のランタイム
配布サイト
<http://www.vector.co.jp/soft/win95/util/se446116.html>

【開発言語】 Microsoft Visual Studio 2005

【同時監視】 監視対象クライアント数 同時に5台まで

【動作確認】 WindowsXP PRO(SP3)での動作確認は
行っておりますがそれ以外のOSは未確認です。
64ビット版のOSでは動作しない可能性が高いです。
動作についてご報告いただければ幸いです。



PR: 無料で始める我が家の防犯対策「パソわんこ」!

パソわんこの部屋

検索



2 販売について

台数制限の無いバージョン「さばめしPro(仮称)」を販売予定です。

ご希望の方はメールでお問い合わせ下さい。

クライアント台数分のライセンス式でご提供予定です。

「さばめし」 同時監視台数 5台

「さばめしPro」 同時監視台数 20台、50台、100台、無制限

「さばめしEx」 クライアントのタイマー制御機能を持ったバージョン
(開発予定)

3 寄付のお願いについて

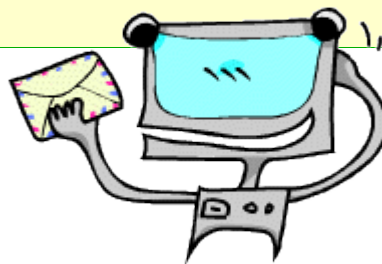
制限などではなく基本的に無料でお使いいただけますが
本ソフトウェアを利用させていただいて、お金を払う価値があると思われた方は寄付（開発費支援）していただけると助かります。
一口1200円をお願いしております。
寄付しても良いという方は、下記口座へ振込をお願いいたします。

銀行名：住信SBIネット銀行株式会社
支店名：ブドウ支店
支店番号：102
口座番号：2849125
口座名義：吉田昭雄

振込後に電子メールにて振込名義と振込日時をご連絡下さい。
一口以上 寄付をして頂いた方には最大10台まで監視可能な
アップデートモジュールを送付させていただきます。

4 連絡先（eメールアドレス）

E-mail: aysystem@ms11.megaegg.ne.jp



PR:  Yui コンピューティング株式会社

車両予約から整備台帳、稼働率、ECO運転率までトータルで車両管理をサポート！

車管理はDECO

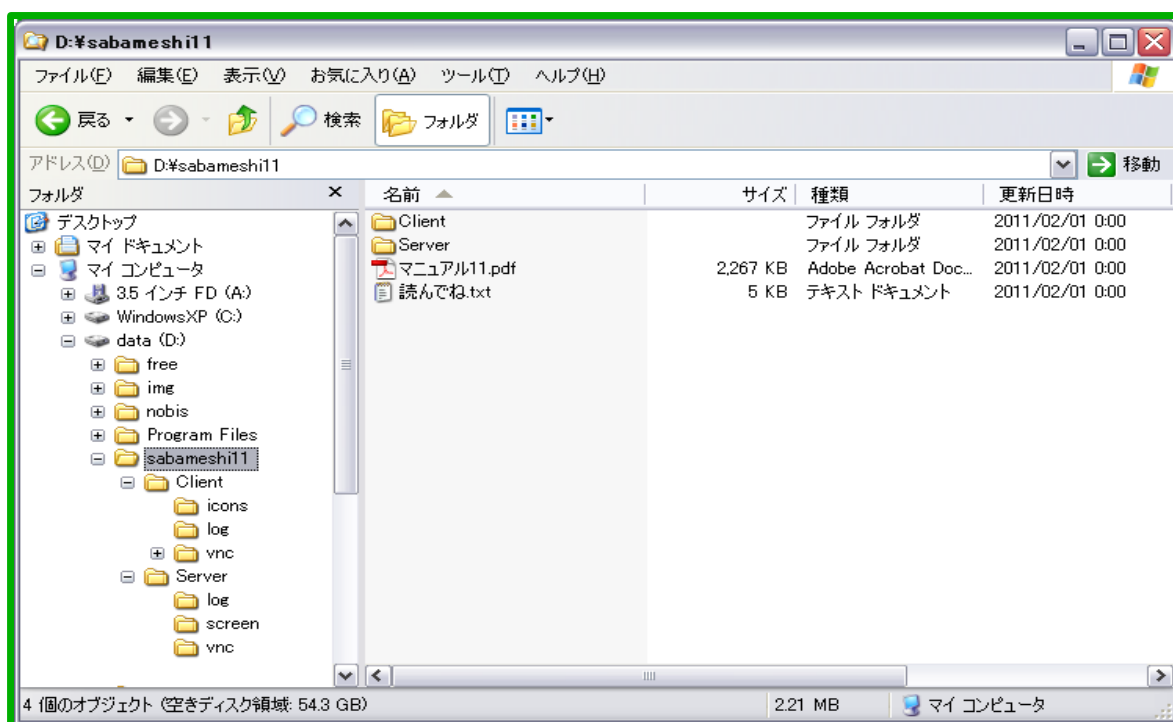
検索



02 インストールと起動方法

1 インストール前準備(ファイルの解凍)

ダウンロードした Sabameshi11.zip のファイルを適当な場所にフォルダを作成して解凍してください。













上記のようなフォルダとファイルが解凍されます。
クライアントで実行するプログラムの入ったフォルダと
モニタリングを行うサーバで実行するプログラムが入ったフォルダ
2つのフォルダとマニュアル、概要を書いたファイルが解凍されます。

※画面はDドライブに解凍した場合の画面です。

2

Client フォルダの説明

 icons	ファイル フォルダ	2011/02/01 0:00
 log	ファイル フォルダ	2011/02/01 0:00
 vnc	ファイル フォルダ	2011/02/01 0:00
 BaseUtil.dll	36 KB アプリケーション拡張	2011/02/01 0:00
 ClientConfig.xml	1 KB XML ドキュメント	2011/02/01 0:00
 Kurazushi.exe	92 KB アプリケーション	2011/02/01 0:00
 RemoteCall.dll	32 KB アプリケーション拡張	2011/02/01 0:00
 VncStay.exe	24 KB アプリケーション	2011/02/01 0:00
 WmiInfo.dll	28 KB アプリケーション拡張	2011/02/01 0:00
 設定.bat	1 KB MS-DOS バッチ ファ...	2011/02/01 0:00

『icons』

「さばめし」のクライアント用実行プログラムが使用するアイコンファイルが保存されています。

『log』

ここにログが保存されます。

解凍直後は dummy.txt ファイルがあります。

『vnc』

リモート操作の外部プログラムが格納されています。

「KuraZushi.exe」

クライアント用実行プログラム「くらずし」です。

「各種DLL」

「くらずし」用外部プログラムです。

「ClientConfig.xml」

環境設定の保存ファイルです。

「設定.bat」

環境設定を行うバッチファイルです。

補足

アンインストールはこのフォルダを削除してください。

3 Server フォルダの説明

log	ファイル フォルダ	2011/02/01 0:00
screen	ファイル フォルダ	2011/02/01 0:00
vnc	ファイル フォルダ	2011/02/01 0:00
BaseUtil.dll	36 KB アプリケーション拡張	2011/02/01 0:00
BaseUtil.Version.dll	24 KB アプリケーション拡張	2011/02/01 0:00
GuiConfig.xml	1 KB XML ドキュメント	2011/02/01 0:00
regist.key	4 KB 登録エントリ	2011/02/01 0:00
RemoteCall.dll	32 KB アプリケーション拡張	2011/02/01 0:00
Sebameshi.exe	104 KB アプリケーション	2011/02/01 0:00
ServerConfig.xml	1 KB XML ドキュメント	2011/02/01 0:00
version	1 KB ファイル	2011/02/01 0:00
サーバ設定.bat	1 KB MS-DOS バッチ ファ...	2011/02/01 0:00

『log』

ここにログが保存されます。

解凍直後は dummy.txt ファイルがあります。

『screen』

監視対象のクライアントから送られてくる画面の
ファイルを保存します。

解凍直後は dummy.txt ファイルがあります。

『vnc』

リモート操作の外部プログラムが格納されています。

「SabaMeshi.exe」

監視端末用実行プログラム「さばめし」です。

「各種DLL」

「さばめし」用外部プログラムです。

「version」

バージョン設定の保存ファイルです。

「サーバ設定.bat」

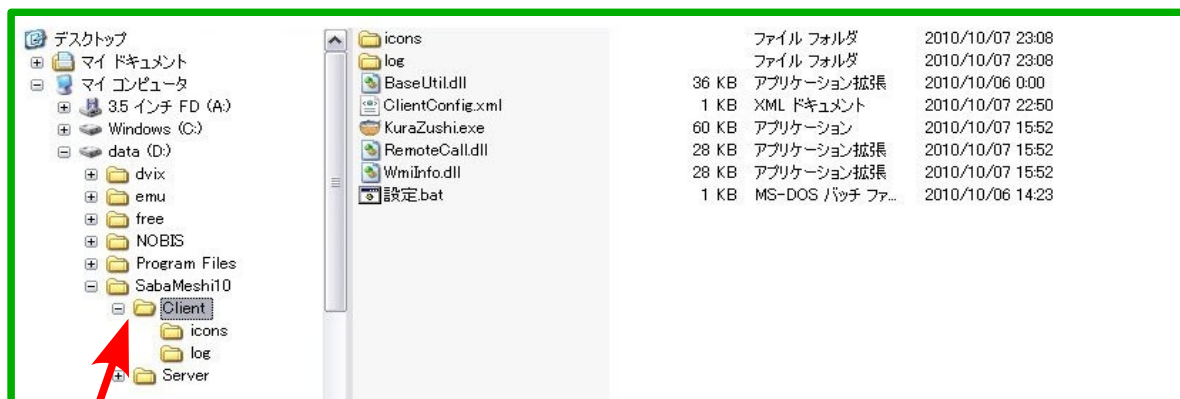
環境設定を行うバッチファイルです。

補足

アンインストールはこのフォルダを削除してください。

4

クライアントソフトのインストールと起動方法



- 解凍された「Client」フォルダを監視したいクライアントパソコンにそのままコピーすればインストールは終わりです。

起動までの流れは以下のようになります

- ① クライアントパソコンにフォルダごとコピーする
- ② 「設定.bat」 を実行して環境設定を行う。
設定内容については P13 へ
- ③ 「KuraZushi.exe」をダブルクリックでプログラム実行する。

プログラムを実行するとタスクバーにアイコンが表示されます。



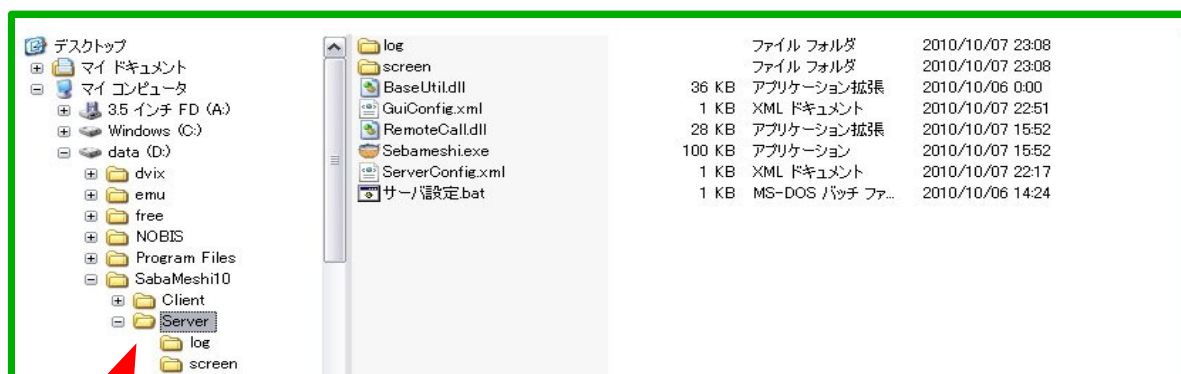
赤色の時は監視接続されていません。

青色の時は監視接続されています。

※監視端末で「さばめし」が起動していない場合、アイコンは赤色の状態になります。

5

サーバソフトのインストールと起動方法



- 解凍された「Server」フォルダを監視に使用するパソコンにそのままコピーすればインストールは終わりです。

起動までの流れは以下のようになります

- ① 監視用パソコンにフォルダごとコピーする
- ② 「サーバ設定.bat」を実行して環境設定を行う。
設定内容については P15 へ
- ③ 「SabaMeshi.exe」をダブルクリックでプログラム実行する。

プログラムを実行すると管理画面(P19)が表示されます。

※監視対象のクライアントで「KuraZushi.exe」が起動していれば
管理画面に端末アイコンが表示されます。

1 クライアントの設定方法

icons	ファイル フォルダ	2010/10/07 15:54
log	ファイル フォルダ	2010/10/07 15:54
BaseUtil.dll	36 KB アプリケーション拡張	2010/09/08 16:14
ClientConfig.xml	1 KB XML ドキュメント	2010/10/07 16:03
Kurazushi.exe	60 KB アプリケーション	2010/10/07 15:52
RemoteCall.dll	28 KB アプリケーション拡張	2010/10/07 15:52
WmiInfo.dll	28 KB アプリケーション拡張	2010/10/07 15:52
設定.bat	1 KB MS-DOS バッチ ファ...	2010/10/06 14:23

●「設定.bat」をクリックして環境設定を行います。
下記の画面が表示されます。



重要

初めて「くらずし」を使用する場合は、必ず環境設定を行ってください。

①

サーバのアドレス、ポート

管理端末のIPアドレスを入力します
通信を行うポート番号を入力します
初期値は9820に設定されています

②

問い合わせ間隔

サーバに情報を送る間隔を入力します
初期値は5秒に設定されています

③

スクリーンショット自動転送

デスクトップ画面を画像にして
サーバに送る間隔を入力します
初期値は30秒に設定されています

④

入力内容に間違いがなければ
【OK】を押して入力を完了してください

補足

ログ出力機能は使用しません

2

サーバの設定方法



- 「サーバ設定.bat」をクリックして環境設定を行います。
下記の画面が表示されます。



重要

初めて「さばめし」を使用する場合は、必ず環境設定を行ってください。

①

サーバのポート

通信を行うポート番号を入力します
初期値は9820に設定されています

Server 設定

サーバのポート 9820

命令の有効期限 300 秒

クライアントタイムアウト 600 秒

リモート操作受信ポート 5500

デバッグ用

☒ ログの出力

ログの出力レベル WARNING

Cancel OK

②

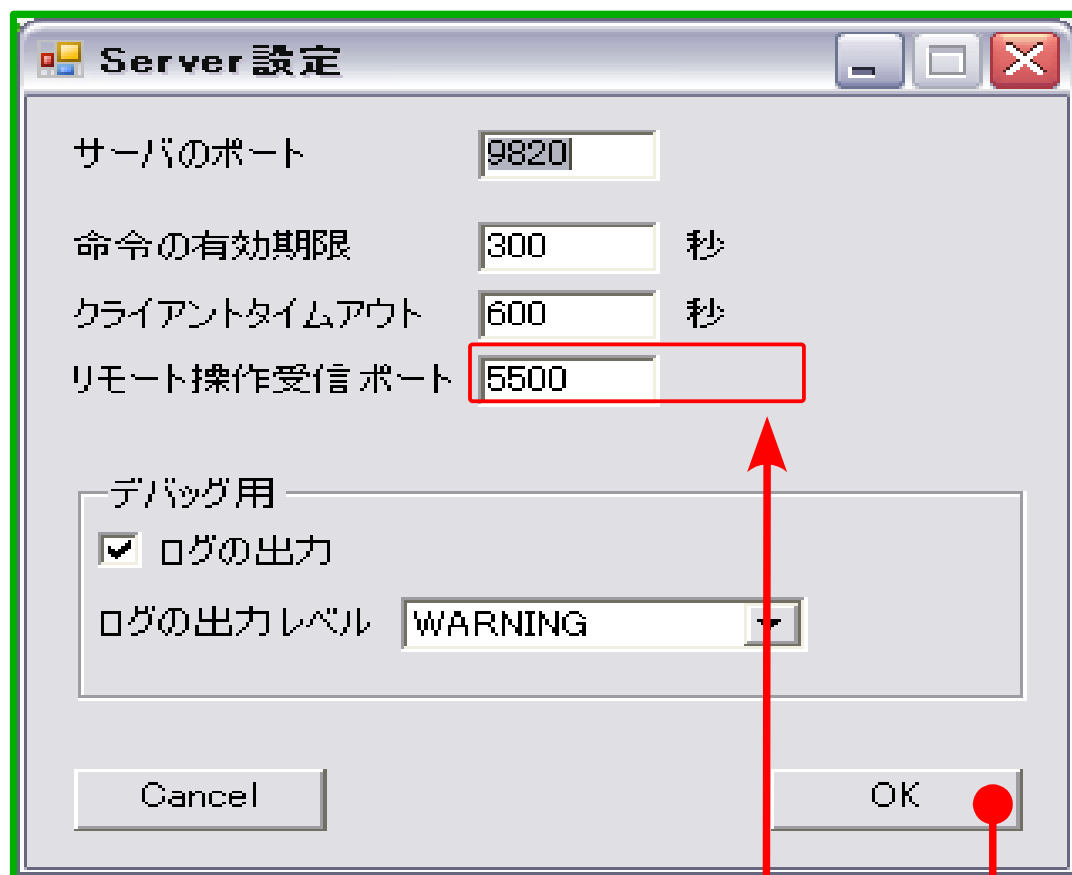
命令の有効期限

クライアントへ送信した命令の有効期限
を入力します
初期値は30秒に設定されています

③

クライアントタイムアウト

設定時間内にクライアントからの接続がない場合、
クライアントは電源オフと見なします
初期値は90秒に設定されています



④

リモート操作受信ポート

クライアントをリモート捜査する場合に使用するポート番号を指定します。
通常はこのままの設定で構いません。

⑤

入力内容に間違いがなければ
【OK】を押して入力を完了してください

補足

ログ出力機能は使用しません

04 各プログラムの起動

1 クライアントソフトの起動画面

インストールフォルダにある「KuraZushi.exe:くらずし」をダブルクリックするとクライアントソフトが起動します。



● クライアントソフトを起動すると
赤いアイコンが現れます。



● 監視ソフトと接続されると
青いアイコンに変わります。

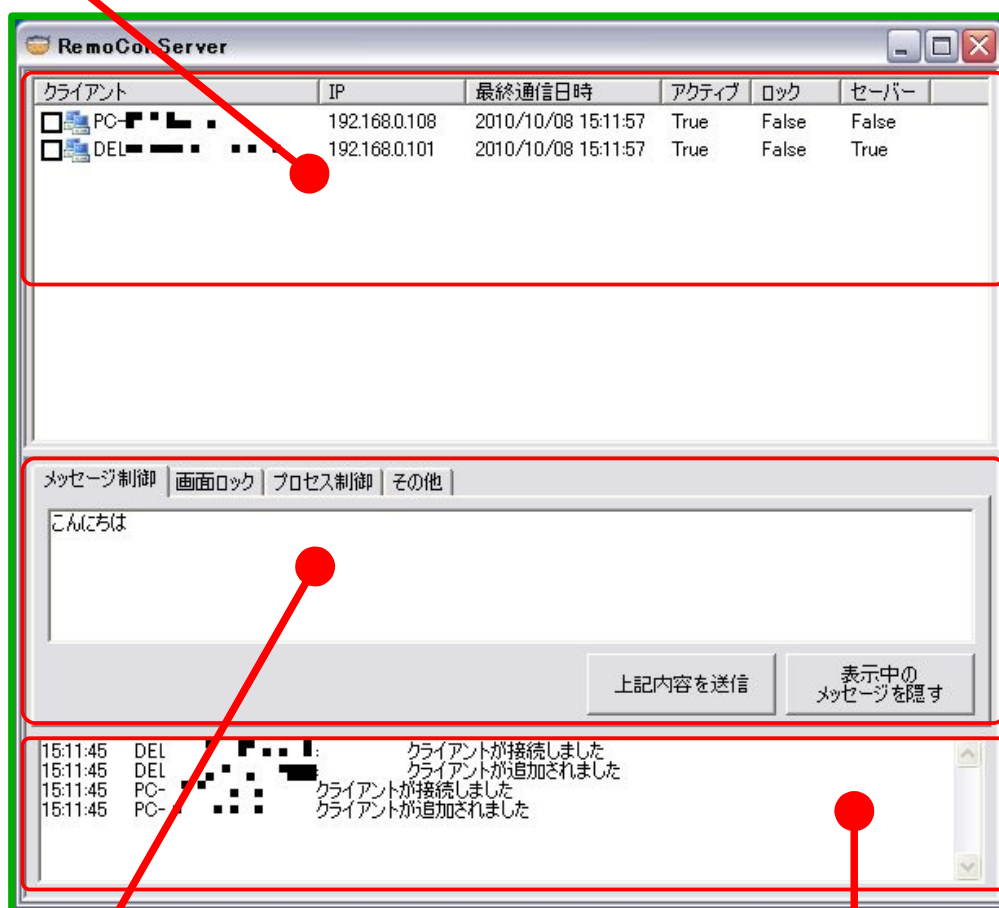
重要

クライアントソフトのプログラム終了は監視ソフト「さばめし」からでなければできません。

2 サーバソフトの起動画面

インストールフォルダにある「SabaMeshi.exe : さばめし」をダブルクリックすると監視ソフトが起動します。

- ① 監視クライアント情報の表示エリア
「コンピュータ名@ユーザー名」で表示されます



- ② 監視クライアントへの制御命令エリア

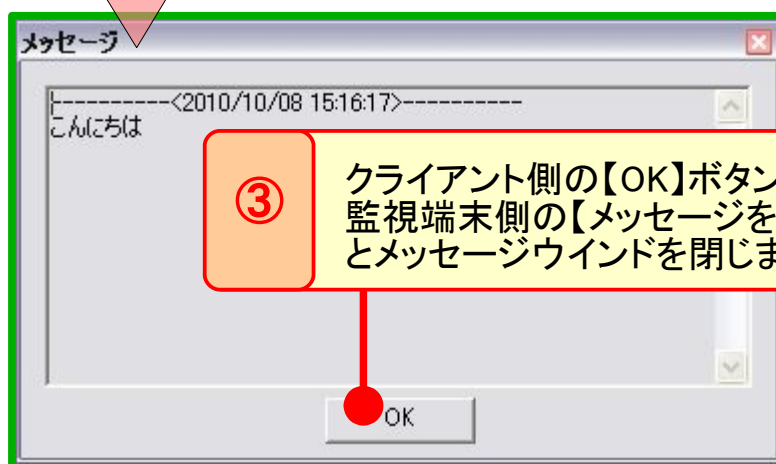
- ③ 監視クライアントとの通信ログエリア

3 クライアントの制御機能:メッセージ送信



① メッセージを表示したいクライアントにチェックを入れて「メッセージ制御」を選択してください

② 入力欄に入力したメッセージが選択クライアントに一齐送信されます

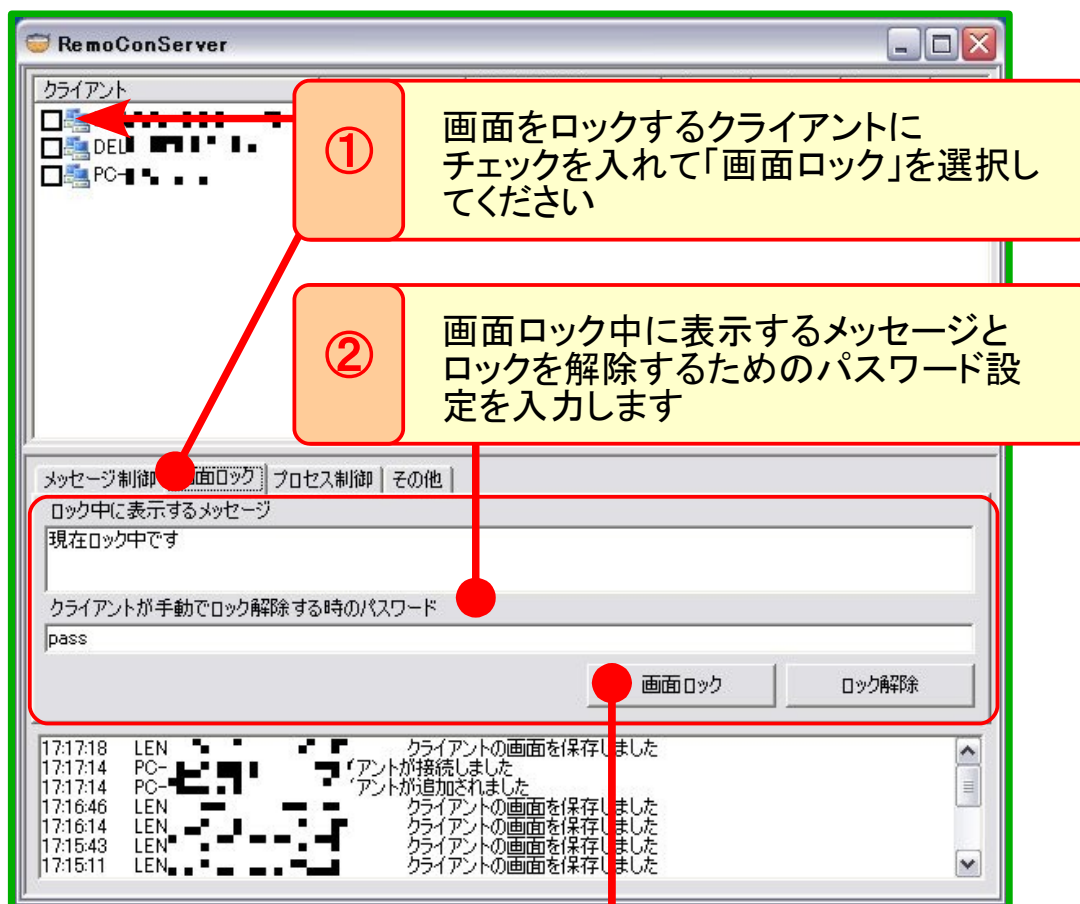


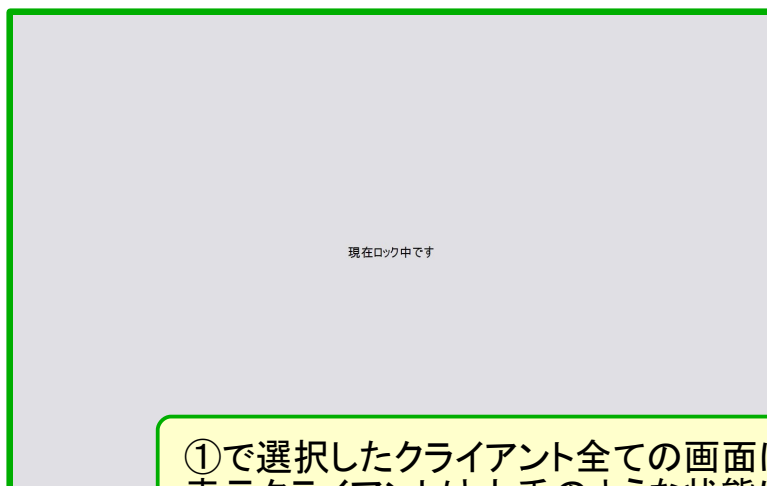
③ クライアント側の【OK】ボタン または 監視端末側の【メッセージを隠す】ボタンを押すとメッセージウインドを閉じます

①で選択した全てのクライアントに上記メッセージウインドを表示します

4

クライアントの制御機能：画面ロック

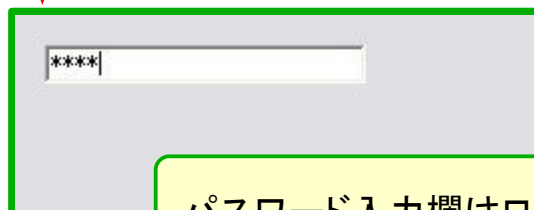




①で選択したクライアント全ての画面にロックウインドを表示クライアントは上手のような状態になります

④

ロックされた状態をクライアント側で解除する場合は
ShiftキーとCtrlキーを同時に押してパスワード入力欄を
表示させてから設定されたパスワードを入力します



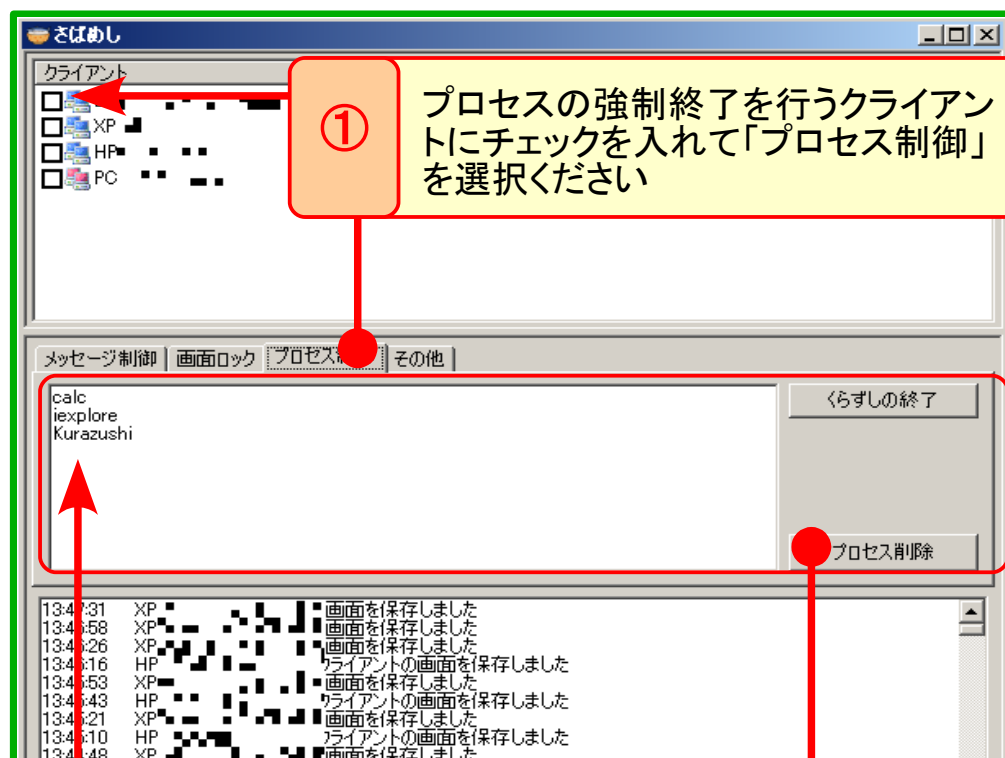
パスワード入力欄はロック画面の左上に表示されます

注意

ロック機能について
ロックウインドは全画面のウインドを表示している
状態であり、起動しているソフトやOSの動作を
ロックしているわけではありません
ロック状態のままで電源を切ると作業中の未保存
データなどは消えてしまいますので注意してください

5

クライアントの制御機能：プロセス強制終了



②

終了するプロセス名を指定します
ここで指定するプロセス名はタスクマネージャーで
表示されるイメージ名を指定してください

「プロセス削除」ボタンを押すと
クライアント側で起動中のプロセスを強制終了します

注意

プロセス制御機能について
プロセス制御機能ではクライアントで起動している
プロセス(アプリケーション)の強制終了を行います
作業中の未保存データなどがあると消えてしまう
場合がありますので十分注意してください

6 クライアントの制御機能:くらずしの終了

① クライアントソフト「くらずし」の終了を行うクライアントにチェックを入れて「プロセス制御」を選択ください

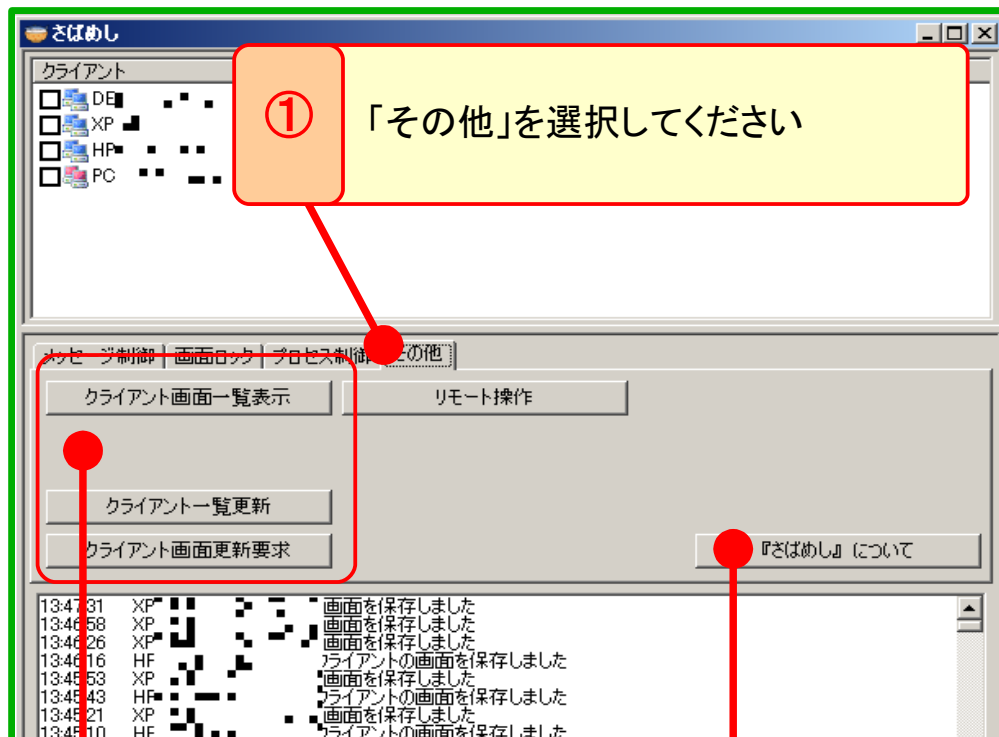
② 「くらずしの終了」ボタンを押すとクライアント側で起動中のくらずしを終了します

注意

終了までの時間について
終了ボタンを押してもすぐに「くらずし」が終了しない場合があります。
最大でP16の②命令有効期限に設定されている時間まで終了しないことがあります。
命令の有効期限を長くすると終了までの時間も長くなる可能性があります。

7

クライアントの制御機能：画面一覧



①

「その他」を選択してください

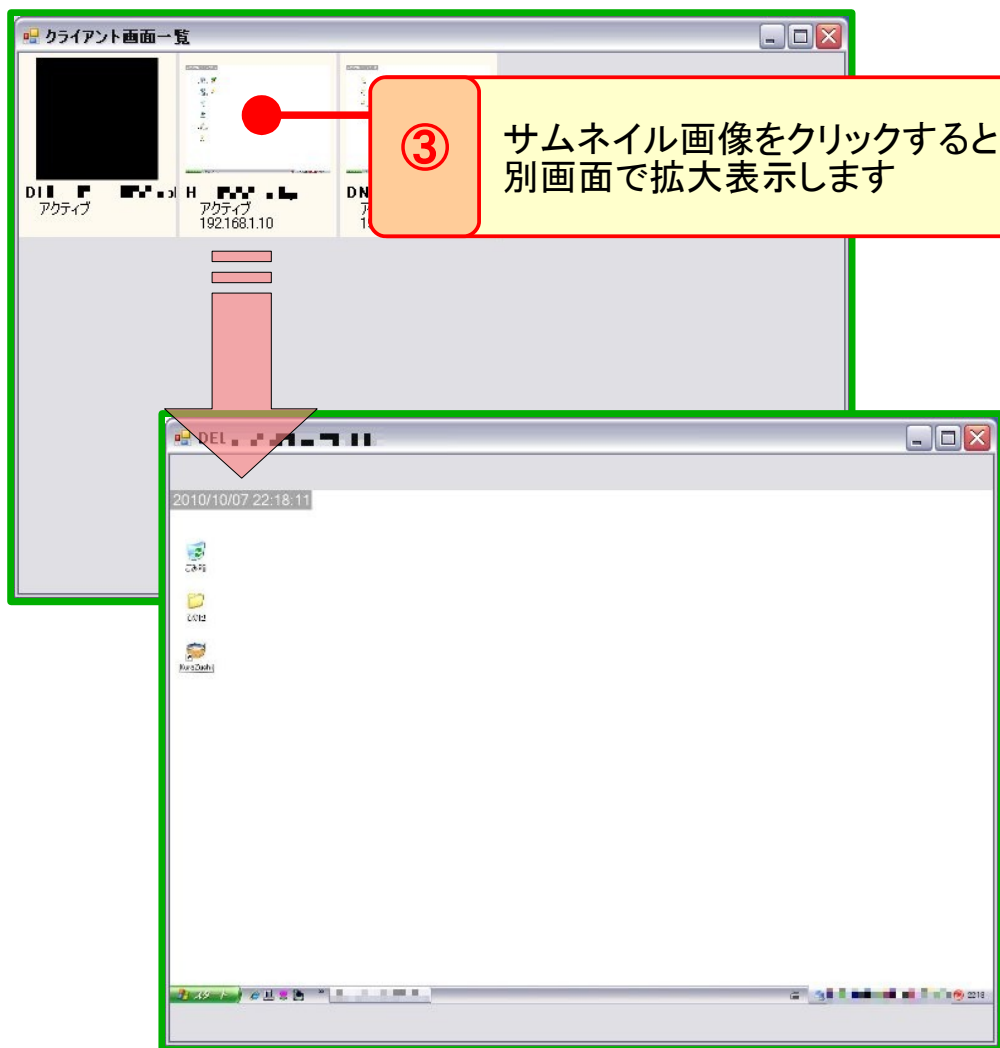
②

「クライアント画面一覧」
監視対象クライアントの画面イメージをサムネイル表示します

「クライアント一覧更新」
クライアント表示欄に表示されているクライアントを最新状態に更新します

「クライアント画面更新要求」
クライアントの画面更新要求を行い最新の画面イメージを受信します

「さばめしについて」
バージョンとホームページアドレスを表示します
最新バージョンの有無確認が行えます

**補足**

クライアントがオフラインの場合
オフラインと表示され直近に受信した画像を表示します

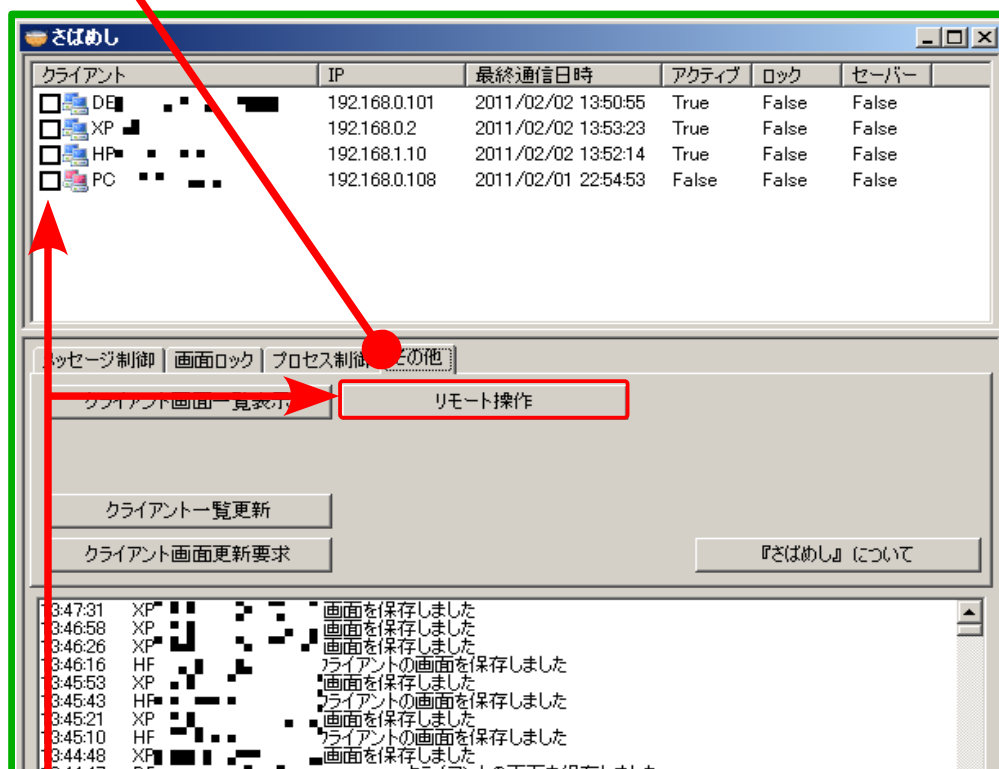
黒い画像を表示する場合
スクリーンセーバーが実行されている可能性があります

8

クライアントの制御機能:リモート操作

①

「その他」を選択してください



②

リモート操作したいクライアントを選択します

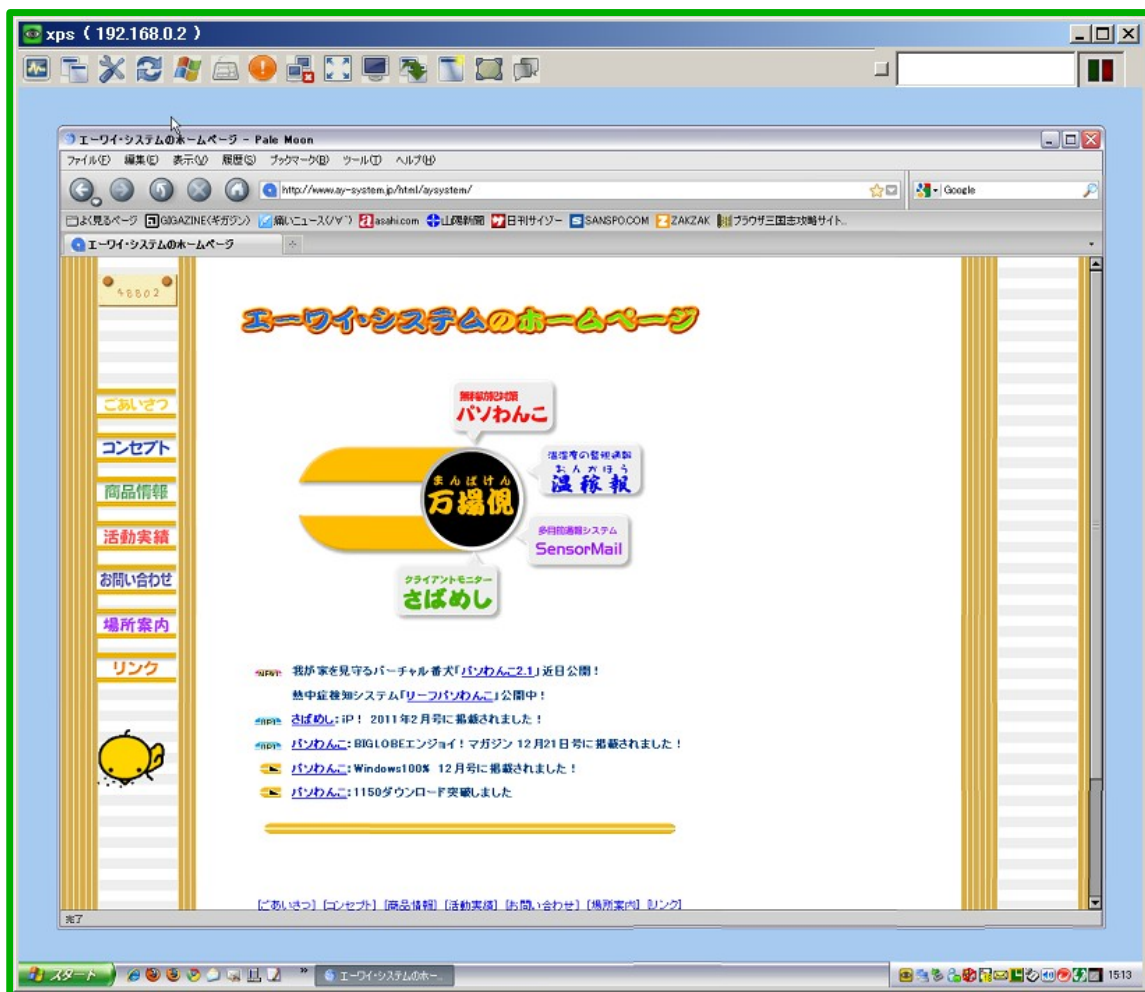
「リモート操作」ボタンをクリックすると
クライアントのデスクトップ画面が表示されます

そのままクライアントの操作が可能です

③

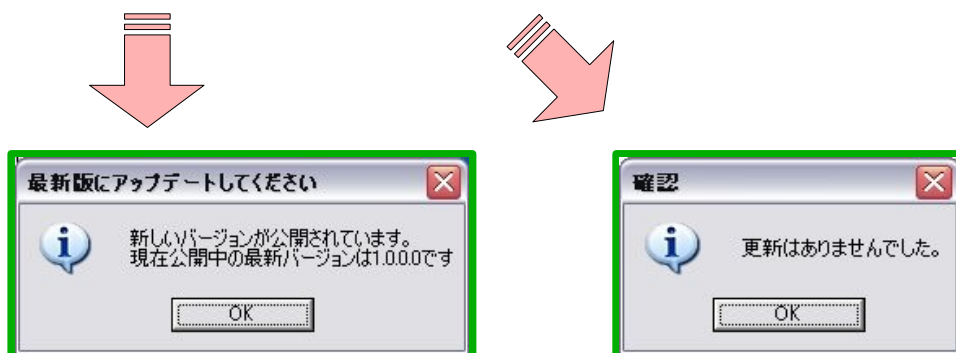
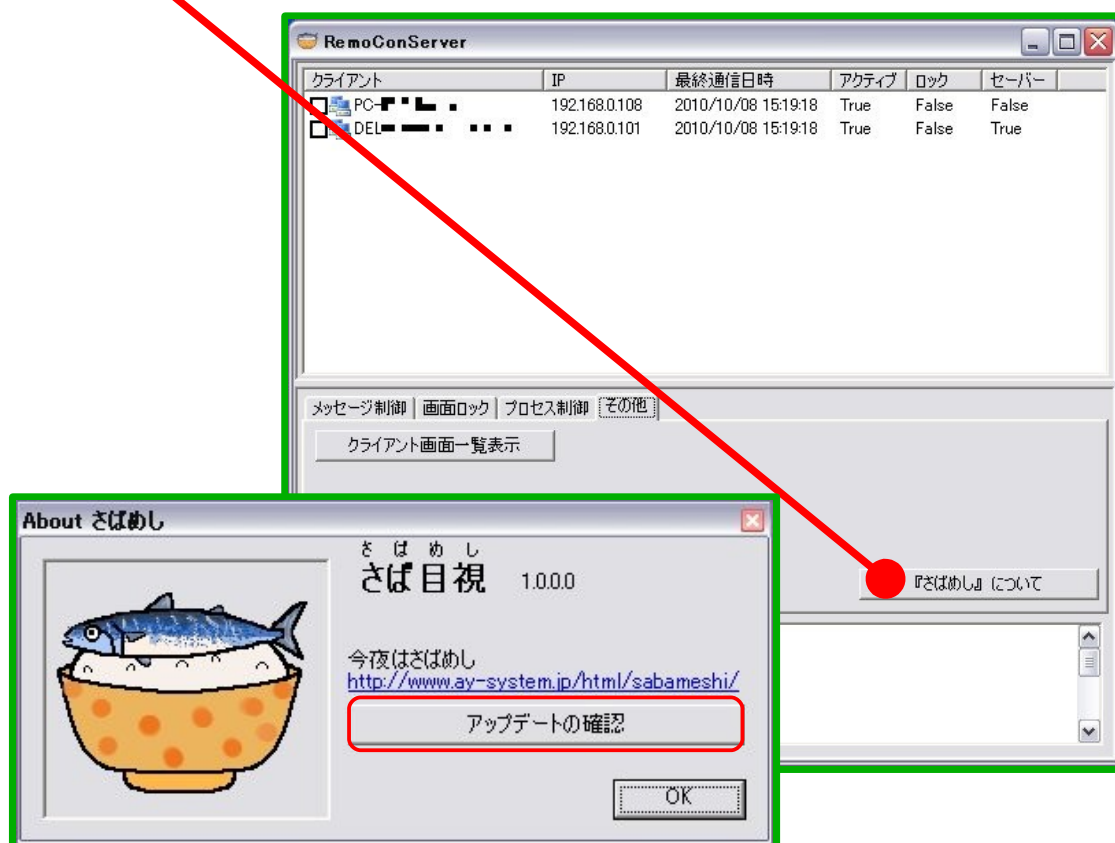
しばらくすると、UltraVNCが起動して、リモート操作ができるようになります

操作が終わったらウインドを閉じてください



9 アップデートの確認機能

「さばめし」には最新版の有無を確認する機能があります。
「その他」→「さばめしについて」と選択してウインドを開きます。



最新版が見つかった場合は、「さばめし」をダウンロードして最新版への更新を行ってください。

10 実行中の注意とアンインストール

- ① パーソナルファイヤーウォールやウイルス対策ソフトなどに通信の許可設定をしてください。詳細は27ページ以降をご覧ください。
- ② 「さばめし」の実行にはランタイムが必要です。
Microsoft .NET FrameWork 2.0以降のランタイム配布サイト
<http://www.vector.co.jp/soft/win95/util/se446116.html>
- ③ 「さばめし」は64ビット版OSでの動作検証が出来ておりません。動作検証の結果をご連絡いただけると幸いです。
- ④ 個人のプライバシー保護には十分注意してください。
- ⑤ 「さばめし」はインターネット越しなど、複数のセグメントをまたがるネットワーク上での動作保証をしておりません。サポート対象外としております。
- ⑥ クライアント側管理ソフト「くらずし」が監視ソフト「さばめし」より先に起動している場合、情報が伝達できない場合があります。その場合は、「くらずし」を再起動してください。基本的には「さばめし」を監視パソコンで起動したままにしておく運用をお勧めいたします。
- ⑦ アンインストールについて（「くらずし」「さばずし」共通）
作成したフォルダをそのまま削除して下さい。
レジストリ操作はしてありません。

「さばめし」はリモートコントロールソフトUltraVNCを利用する事により「さばめし」で監視しているクライアントパソコンをリモートコントロール(遠隔操作)する事が可能です。

UltraVNC は下記サイトでダウンロード可能です。

<http://www.forest.impress.co.jp/lib/inet/servernt/remote/ultravnc.html>

UltraVNC はフリーソフトです。

英語版であるため日本語化するには別途日本語化のプログラムが必要となります。

下記サイトでダウンロードして日本語化を行ってください。

UltraVNC 日本語化

<http://blog.livedoor.jp/blackwingcat/archives/1031223.html>

06 ウイルス対策製品への設定

1 パーソナルファイヤーウォールの設定

「さばめし」は独自の通信機能により、設定された通信ポートを使用して監視端末とクライアント間で通信を行います。

この場合、「さばめし」が導入（インストール）された パソコンに パーソナルファイヤーウォール機能を備えたウイルス対策製品が導入（インストール）されている場合、パーソナルファイヤーウォールの機能により通信が出来ない場合があります。

パーソナルファイヤーウォールへ下記のような、通信許可の設定を行ってください。

設定はそれぞれの操作説明書に従い作業してください。

許可プログラム名 : KuraZushi.exe、SabaMeshi.exe

許可プロトコル : TCPプロトコル

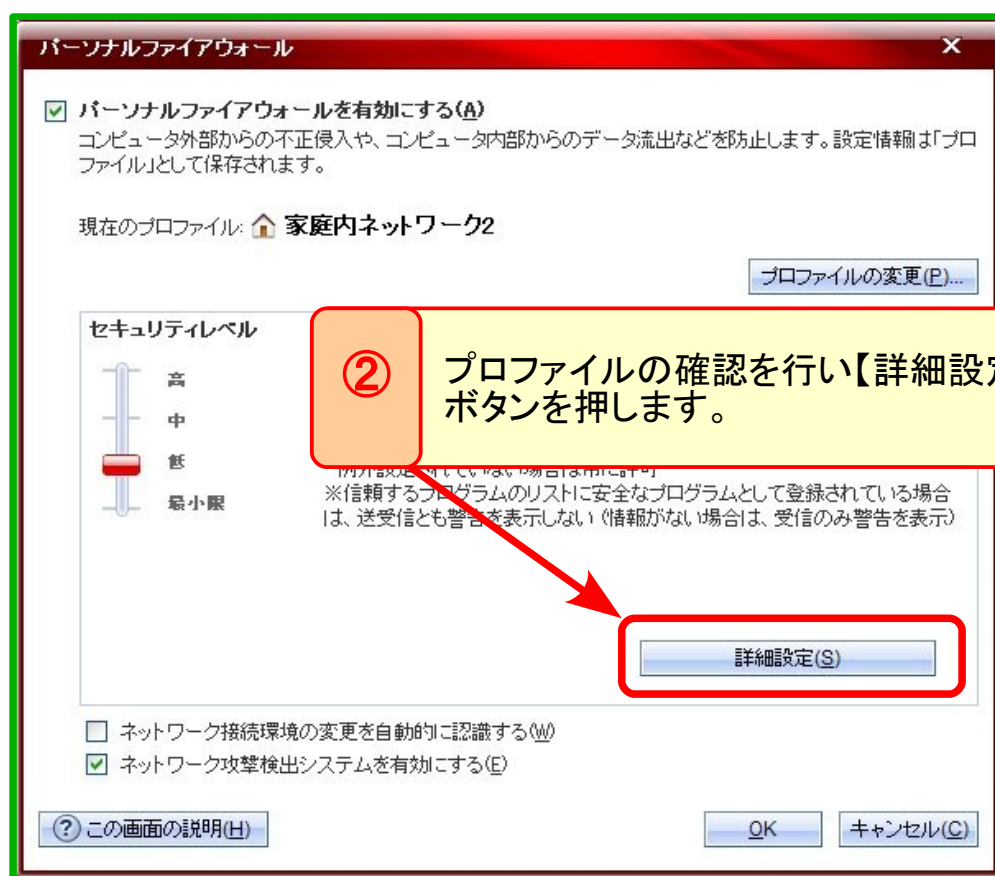
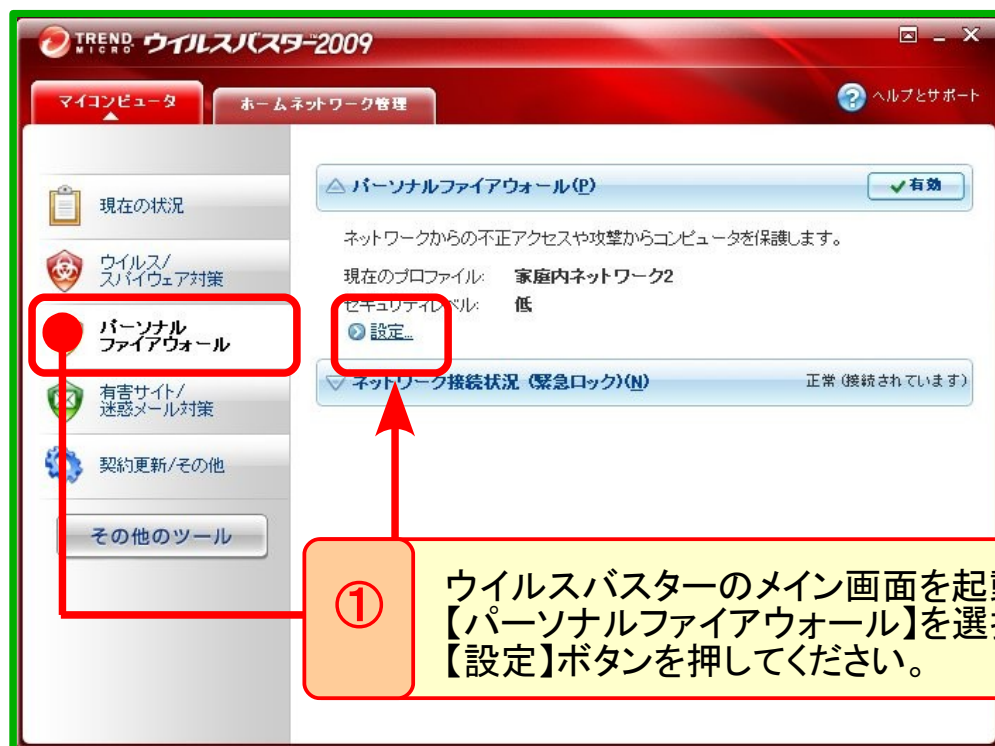
許可通信ポート : 設定で行った通信ポート（初期値は9820番）

重要

パーソナルファイヤーウォールの設定を誤った場合、パソコンでインターネットができない、メールを送受信しないなどの重大な問題が起こる場合があります。十分注意して設定を行ってください。

2

ウイルスバスター2009での設定方法について



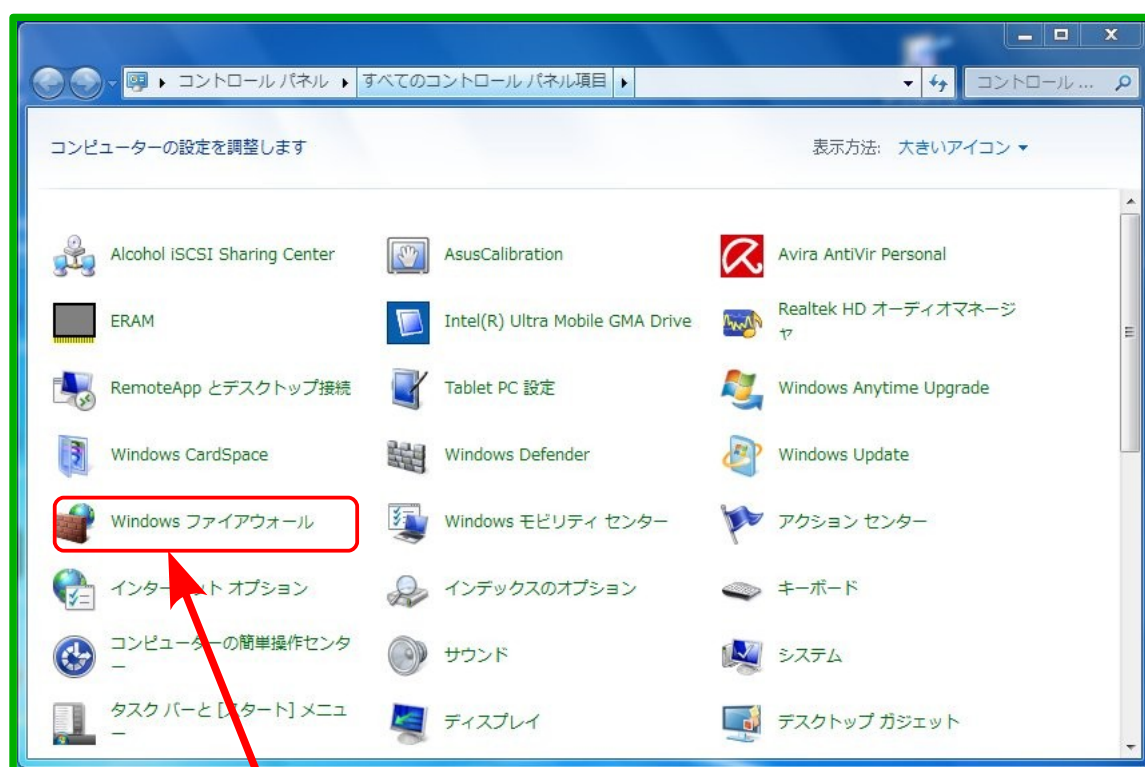
3

ウイルスバスター2011での設定方法について

ウイルスバスター2011クラウド は独自のパーソナルファイヤーウォール機能を搭載しておりません。

Windowsにあるパーソナルファイヤーウォール機能を使用していますのでそちらへの設定を行ってください。

Windows7でのファイヤーウォールの設定方法は下記のようになります。



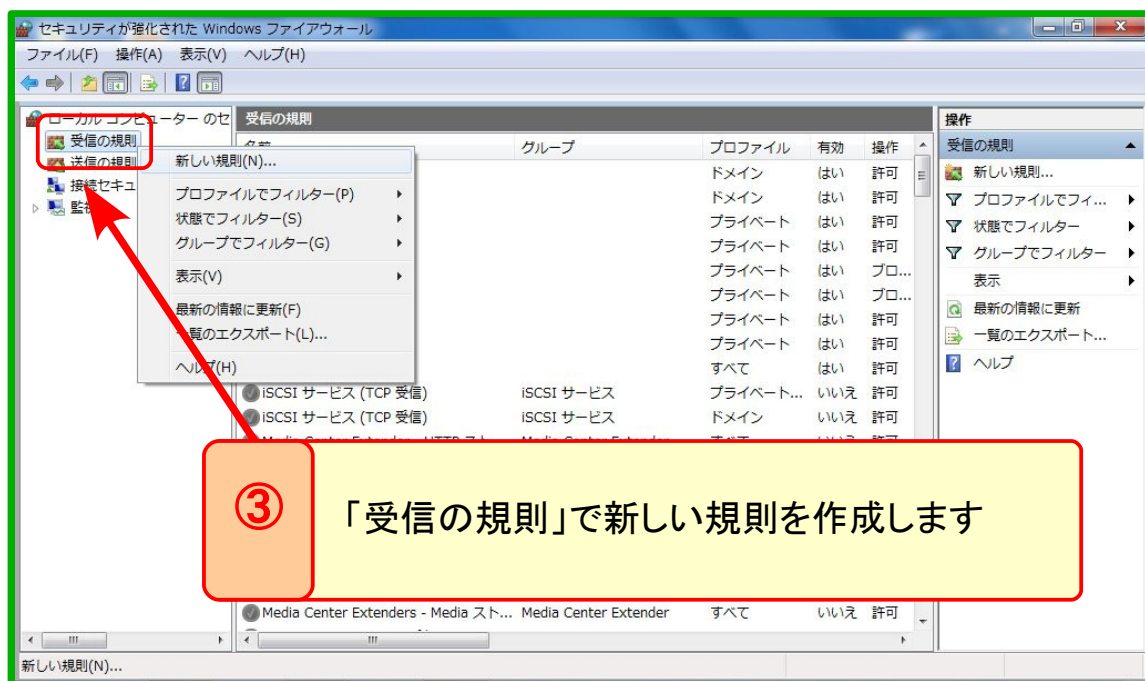
①

コントロールパネルを開き
「Windowsファイアウォール」を選択します



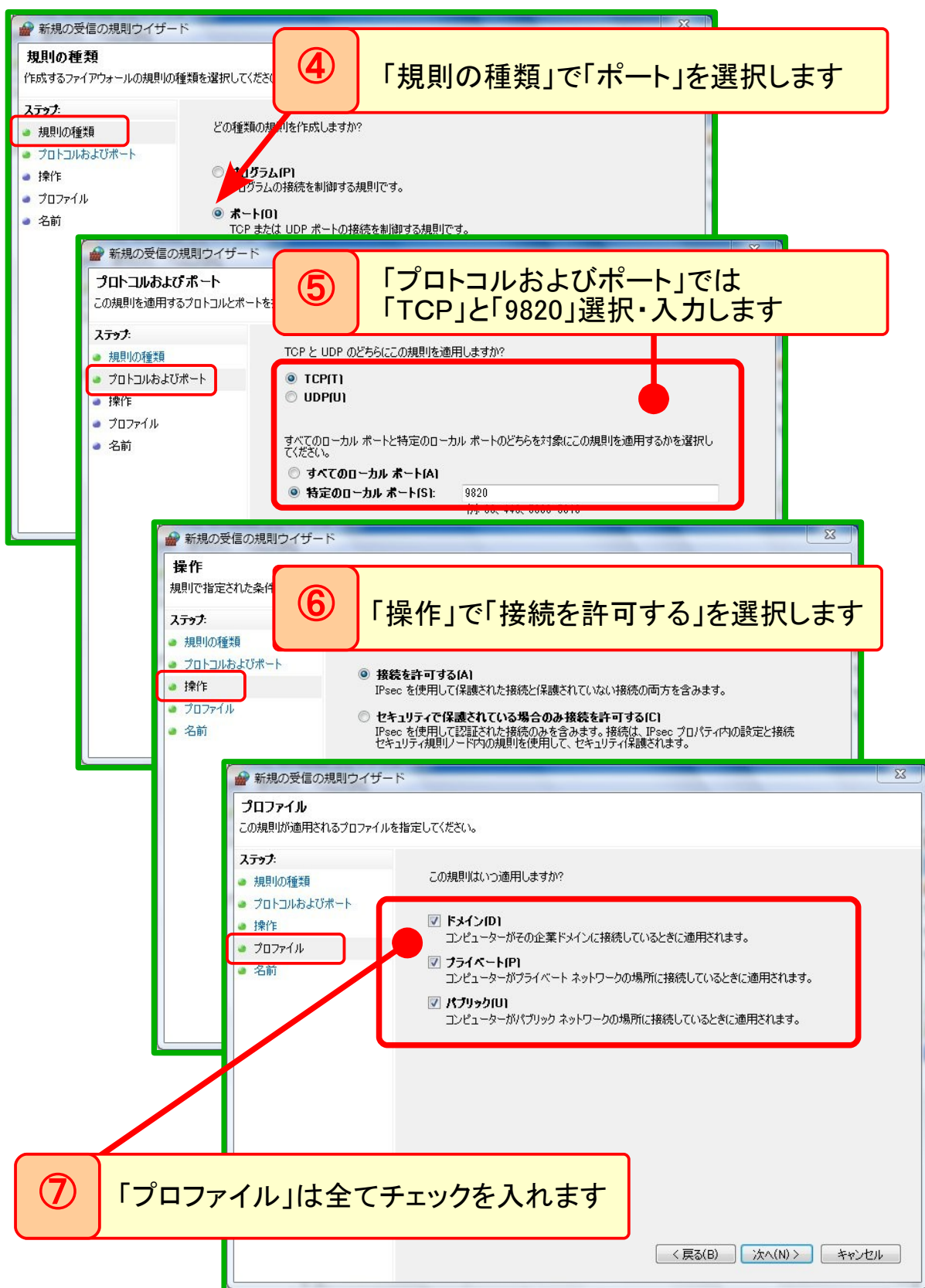
②

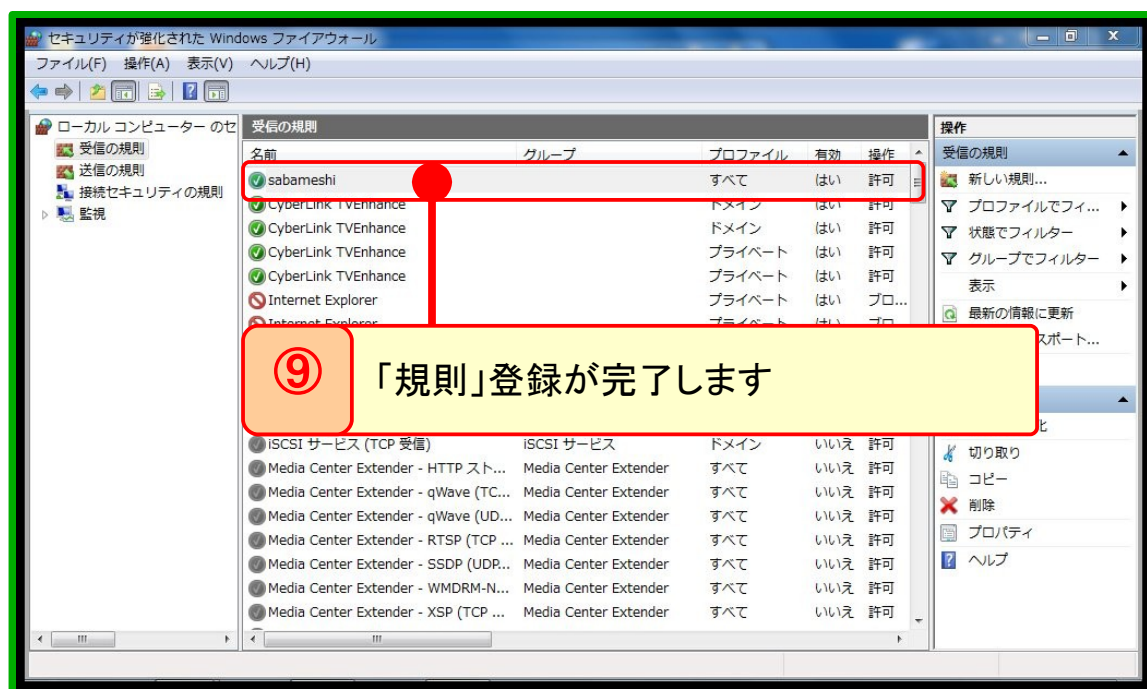
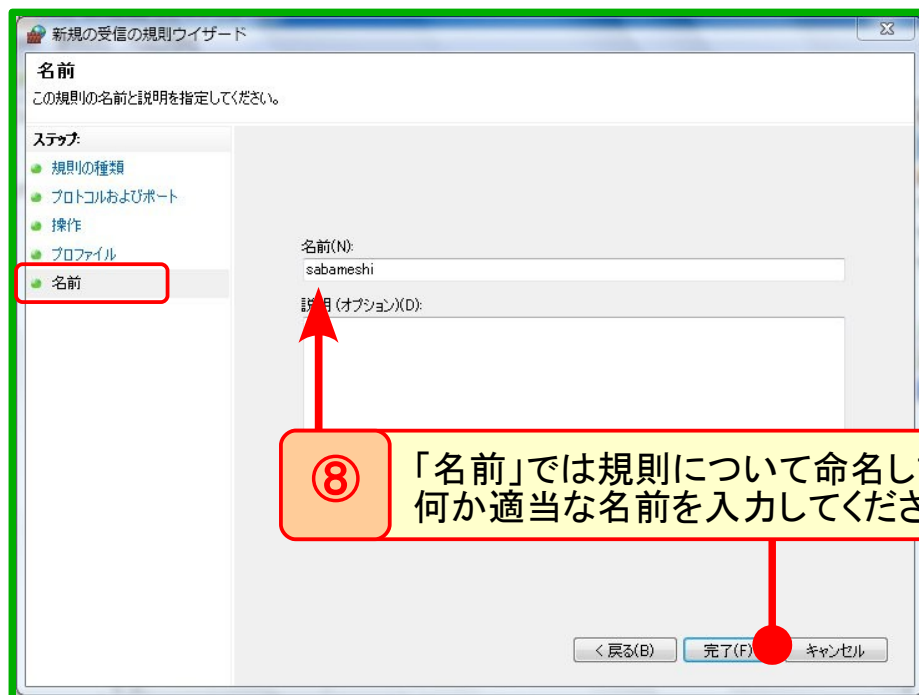
「詳細設定」を選択します



③

「受信の規則」で新しい規則を作成します





【免責事項】

「さばめし」の利用によって何らかの障害や金銭的なものも含めた損失が生じたとしても、その原因が「さばめし」や連携ソフトウェアのバグ及び意図された動作によるものであるか否かを問わず、「さばめし」及び連携ソフトウェアの著作者及び作者はその責任を負いません。

利用者の自己責任において使用して下さい。

【転載条件】

転載・再配布を行う場合は、巻末の連絡先まで連絡を下さい。
商用使用したい場合は内容をご相談下さい。

【著作権・改造】

「さばめし」の著作権は「たか・さとう」が有しております。

また、いかなる場合であっても、本ソフトの一部、もしくは全部をリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、または第三者をして、それらの行為を行わせる事はできません。

【最新版情報および配布ページ】

「今夜はさばめし」

<http://www.ay-system.jp/html/sabameshi/index.html>

【バージョンアップ履歴】

2010年10月20日 1.0.0 リリース

2011年 2月14日 1.1.0 リリース



最新情報はホームページで！

今夜はさばめし

検索



さばめし 取扱説明書

第2版 2011年2月14日

[制作] エーワイ・システム

〒703-8294

岡山県岡山市中区新京橋3丁目15-9

TEL: 086-266-5861

<http://www.ay-system.jp>

E-mail: aysystem@ms11.megaegg.ne.jp



センサ情報収集システム

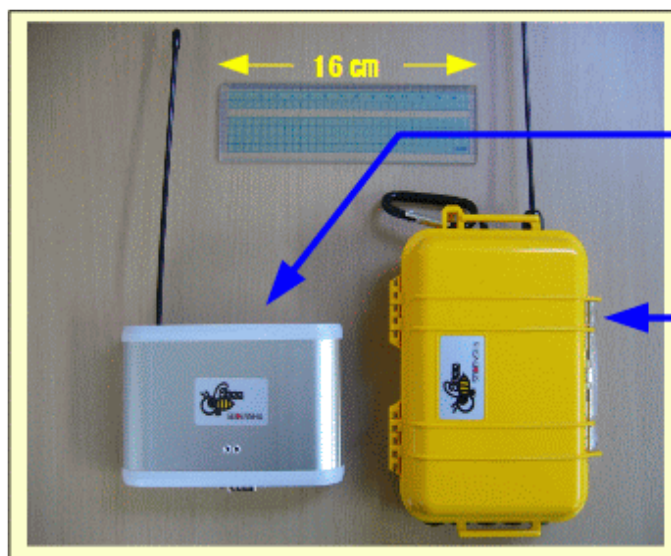
センサ情報収集システム『Beee:ビー』とは

Beee とは・・・

ベースステーションとセンサステーションという

2種類のユニットで構成されます。

温度や湿度、露点温度、日射量などを**無線で収集**し測定記録する情報収集機器です。



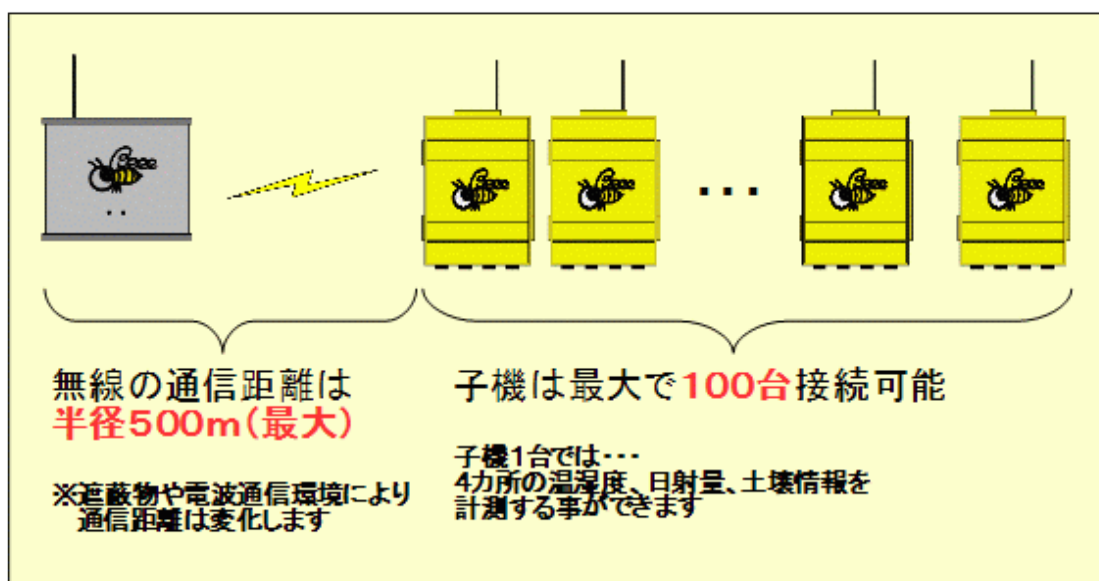
シルバーボディの
ベースステーション

小さいが賢いLinuxサーバー

目立つ黄色の
センサステーション

防水設計

RoHS 指令準拠 (2008 年 8 月現在)
特願2008-146421



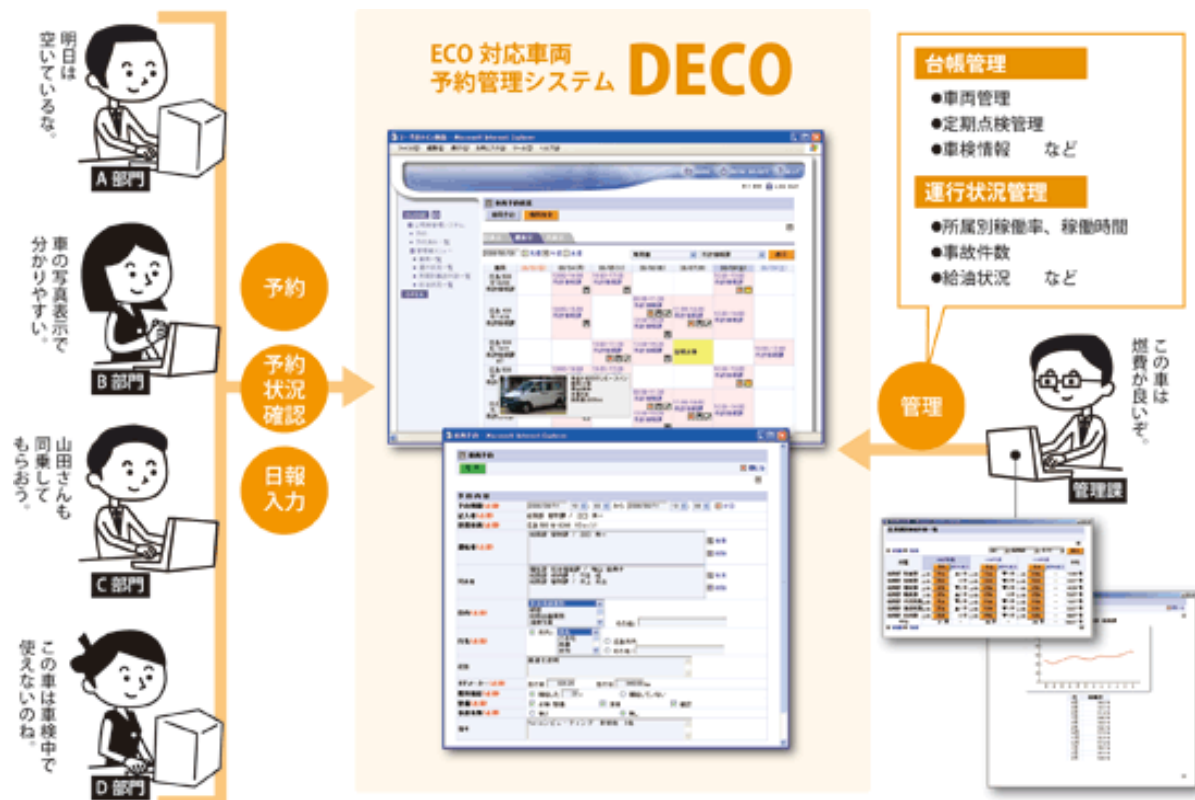
beee

検索





身近なECOから広がるECOへ！ ECO対応車両予約管理システム「DECO」は、ブラウザから空き状況の確認から予約までをスムーズに行う事ができます。車両の稼働状況を管理し、車両分配を最適化することで経費の縮減に役立ちます。また車両毎の燃費計算機能により、職員のエコドライブ意識の向上と共に、燃費に応じたエコ配車が可能です。



予約

- ◆車両写真の表示で車種を簡単に選択！
- ◆車両の稼働状況の把握が可能！

日報入力

- ◆実運転時間を稼働に合わせて管理
- ◆運行・作業の実績を電子化

管理

- ◆所属別、業務別、車種別の稼働率を算出
- ◆走行距離等、給油状況から低燃費車両の分析
- ◆部署毎の適正車両台数の把握が可能！
- ◆定期点検、車検、保険、リース等の期限で車両の検索可能！

利用対象ユーザ	公(社)用車を保有されている自治体・民間会社・公益事業者等
推奨サーバスペック	CPU デュアルコア Xeon 3GHz 以上 メモリ 2GB以上 HDD データ量による OS Windows 2003 Server
推奨クライアント	OS: Windows2000、WindowsXP Windows/Vista ブラウザ: Internet Explorer 6.0～
実績	東広島市

各字見>体部<体>部
ムテスバ>イ/イタニ子・イ/イテ
『1.1』めもた』

書月日結飛卵

